

標準パネル&仕様



●標準パネル

品番	MF-3ZC	MF-5ZC
規格	3000N仕様	5000N仕様
寸法	500×500×25	
材質	溶融亜鉛鍍金鋼板	
構造と分類	パネル構造、支持分離型、独立支柱タイプ	
製品重量	約4.8kg/枚	約5.7kg/枚
支柱込/m ²	19.3~19.7/m ²	23.7~24.1/m ²
基本セット(1m ²)	標準パネル4枚	

優れた性能

- MF-3ZC/5ZC及び支柱は、(社)公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」において評価委員会が定めた基準を満たしています。
- MF-3ZC/5ZC及び支柱は、JIS A 1450:2009「フリーアクセスフロア構成材の試験方法」に基いたフリーアクセスフロア工業会(JAFA)規格に適合しています。
- 下記の①~④は、(財)日本建築総合試験所において、⑤⑥は(一財)ケケン試験認証センターにおいて各試験を実施。

①静荷重試験…JIS A 1450:2009の6・2項目に準拠

MF-3ZC/5ZCの最弱部にφ50の加圧子で変位速度5mm/min程度で荷重し、所定荷重を荷重したときの変形量を測定。その後、荷重を200Nに戻して1分間保持したときの変形量(残留変形量)を測定。

②衝撃試験…JIS A 1450:2009の6・3項目に準拠

MF-3ZC/5ZCの最弱部に質量30kgの砂袋を250mmの高さから自由落下。その後、その変形量を変位測定器で変形量を測定。

③ローリングロード試験…JIS A 1450:2009の6・4項目に準拠

MF-3ZC/5ZCの最弱部をJIS B 8922に規定する車輪で走行速度10m/min~12m/minにて5000往復。その後、その変形量を変位測定器で変形量を測定。

④振動試験…JIS A 1450:2009の6・8項目に準拠

1000mm×2500mm以上の試験体に350kgのおもりを載せ、正弦3波にて加振。加振後、パネルの脱落、損傷、せり上がり、すきま及び水平移動を目視で確認。

⑤帯電性試験…JIS A 1450:2009の6・6項目に準拠

ゴム絶縁板の上に接地された銅版を置き、その上に試験体を製品の仕様で設置、測定装置を用いて最大帯電電位と半減時間を測定。

⑥漏えい抵抗試験…JIS A 1450:2009の6・7項目に準拠

ゴム絶縁板の上に接地された銅版を置き、その上に試験体を製品の仕様で設置、直流電圧500Vを印加し、抵抗値を絶縁抵抗計で読み取る。

■試験結果 性能一覧表

品番 試験体	試験項目 規格 実測値	荷重試験		衝撃試験	
		部位:最弱部		部位:最弱部	
		所定荷重のときの変形量	残留変形量(200N)	残留変形量(200N)	目視による損傷の有無
JAFA規格		5mm以下	3mm以下	3mm以下	ないこと
MF-3ZC	実測値	3.5mm以下	0.9mm以下	2.9mm以下	なし
MF-5ZC	実測値	4.7mm以下	1.0mm以下	1.8mm以下	なし

品番 試験体	試験項目 規格 実測値	ローリングロード試験	帯電性試験	漏えい抵抗試験	振動試験
		部位:最弱部			
		所定荷重のときの変形量			
JAFA規格		3mm以下	U値:1.2以上	1.0×10 ⁶ 以上	パネルの脱落がないこと
MF-3ZC	実測値	0.2mm	1.8	1.0×10 ⁷	なし
MF-5ZC	実測値	0.2mm	1.8	1.1×10 ⁷	なし